

6月くるみぐみだよ!

担当：村本 美穂

4月・5月の安定期が終わり、充実期に入っていきます。今まで培った保育士との信頼関係や愛着関係を土台に、たくさんの人や物と関わり、遊びを広げていきます。梅雨の時期で、室内での遊びが多くなりますが、心と身体を解放して遊べるようにしていきたいと思います。

また、6月より新しく**藤本れなさん**が**入園**されました。よろしくお願ひします。

6月の行事

- 5日(水) 火災訓練
- 12日(水) 遠足/お弁当の日
- 13日(木) 歯科検診 14:30
- 18日(火) 交通訓練
- 27日(木) 内科検診 14:00
- 28日(金) お楽しみ会

●今月の歌

かたつむり あめ
かえるのうた

●今月のわらべうた

ちよちよち だるまさん
こりゃどこの こまんか
ちゅっちゅこっこ
いっぽんばし

●今月の絵本

コトコトでんしゃ あっぷっぷ ないないあつた
こっぷこっぷこっぷ わんわんなくのはだあれ

6月生まれのお友だち

山田 かける君(20日生まれ)



階段登りもとても上手で、足の力をしっかりつかって登ることが出来ます。離乳食も好き嫌いなく、何でも食べ、スプーンを使って食べようとするようになりました。どんぐり組さんのお友だちや保育士が遊ぶ姿を見て、自分でもやってみようとしています。保育士の歌や手遊びに合わせて手をたたいたり、体を揺らして楽しめるようにもなりました!

◇運動

高這いやつかまり立ちを盛んに楽しんでいるかける君の最近のお気に入りはお押し車です。カタカタと音がするのもそうですが、自分で歩いて移動できることが嬉しいようです。りん君は、階段の上り降りを覚え、滑り台遊びがお気に入りです。斜面を登ったりするのも楽しめるようになり盛んに挑戦しています。なのさんやななみさんは自分で移動できる範囲が広がってきました。一人一人が獲得した力を使って興味のある物や場



所に行っては探索活動を楽しんでいます。

新しく獲得した運動の力は子どもの生活のしかたそのものを変化させます。そしてそこで新たな人間関係や新しい自分をつくりながら、次の発達に向けた準備を時間をかけて行っています。早く獲得するのを目的とするのではなく、子ども自身の要求や目的と結びつけながら運動能力を身につけていけるようにしていきたいと思っています。

散歩

保育園近くの裏山にベビーカーに乗って散歩に出かけました。木陰がとても気持ちよく心も身体もリフレッシュするほど、心地いい場所です。そこで花やちょうちょを見ては喜び、手差しをして教えてくれました。しばらく行くと山の湧き水が流れているところがあります。竹の筒から水が流れる様子をじっと見つめ、手を伸ばし水に触れさせると「あは〜」とにっこり微笑みます。冷たくて気持ちよかったです。ずっと手を伸ばし遊び続けました。水は子どもたちにとって快感そのものです。また、しばらく行くと野イチゴがたくさん実っているところがあり、早速、探索をしました。真っ赤に実ったイチゴを手で掴み、潰したり匂ったり口に入れようとしたり、興味津々の様子でした。「いいにおいがするね」と声をかけると、保育士を見つめて、にっこり微笑んでいました。これからも散歩の中でいろいろな物と出会い、共感関係を深めていきたいと思っています。



◇集団

保育士との関係も深まってきた頃、大人への憧れの気持ちが高まり、大人がしていることに興味をもつようになります。おもちゃよりも、大好きな大人が使っている物に関心を寄せるようになります。大好きな大人がやっていることに気持ちを向け、道具の向こうに大好きな大人の姿が見えるからこそ、自分も触ってみたいくなる—これは、幼児期に向かって、また新しい世界が子どもの前に開かれてきた証です。大好きな大人ができてくると、今度はその大人がほかのお友だちに関わっている姿が気になってきます。一緒に遊んでいるうちに、友だちと視線が合うことも増えてくるでしょう。ハイハイをしている子ども達にとって、同じ目の高さを共有し合える素敵な存在です。友だちの行く方向について行ったり、ときに視線が合っ、なんとなく通じ合っているような世界ができたりします。



友だちとの世界を広げていくためにも、それぞれが手に持って遊べるおもちゃを用意すると同時に、太鼓など一緒に遊べる関係が作り

やすいおもちゃをなど、楽しい雰囲気が自然と共有できるような遊びを用意していきたいと思っています。

◇言語・認識

10か月頃から現れる指さしは、子どもの自らが発見し、感動したものを大人に伝えようとする“心のことば”です。大人に「ほらワンワンいるよ」と指さして教えてもらっていたことから、今度は子どもから「ほら、何か見つけたよ」とばかりに指さしをします。子どもの指さしたことに大人が丁寧に言葉を返してあげ、指さしたものと言葉を結び付けていくことを大切にしています。

◇絵本

『こちょこちょこちょ』の絵本を読み始めると、子ども達の表情はなんともいえないほどいい顔になります。「くすぐっちゃおう」と、絵をこちょこちょすると、見ている子ども達もにっこり笑い、「もうすぐ先生がしてくれるぞ」と期待して待っているのがわかります。読み進め最後に「今度はみんなも、こちょこちょこちょ」と読みながら一人ひとりにこちょこちょすると、「待ってました」とばかりに体をよじらせて笑っていました。自分達でも絵本を手にとると、ページをめくって笑ったり手を動かしてみたりして子ども達の大好きな絵本の一つになったようです。



絵と音の世界を通して、絵本は大人と子どもの心と心が寄り添い、信頼関係を作っていく手助けをしてくれます。そして何よりも子どもたちの素直な声を聞くことのできる玉手箱のようです。こんな心地いい時間をこれからも作りだしていこうと思います。

いないいないばああそび

4月5月と楽しんできた『いないいないばあ』の絵本。「見えない世界へ」への期待が高まり、布や物陰のうしろから、「今は隠れているけど、もうすぐ先生がバァッと出てくるぞ」と保育者の顔が出てくるのを待っています。期待して待つ楽しさは、ちょっと先を見通して期待して待つ、これは、長い目で見れば、幼児期に向かってイメージの世界を作っていくための土台にもなっています。繰り返し遊んでいると、子どもの方から「バァッ」と顔をのぞかせてくれます。繰り返し遊ぶ中で、どんどん“いないいないばああそび”が大好きになっているようです。



◇描画・造形

今月は散歩で遊んだ、野イチゴを作りました。折り紙で折ったイチゴに、子ども達の小さな指にスタンプの色をつけ、種を付けてもらいました。指を付けると



色が付き、「あっ。あー」と、嬉しそうに保育士を見つめ、また、指を押し付けていました。とつても、かわいいイチゴが出来ましたよ。

◇生活 ●食事

食べる前後の「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶も、保育士の声かけで手を合わせてお辞儀をしてくれるようになりました。コップでお茶を飲むことにも少しずつ慣れて、自らコップを持ち、口元へ運べるようになりました。まだ、自分で角度の調整、力の調整をするのは難しいので、こぼしてしまうこともあります。自分でやりたいという気持ちを大切にしながら、援助をしてあげたいと思っています。

なのさんやななみさんはスティック状へと移行した事により、手で掴みやすくなりました。スプーンで保育士から食べさせてもらうより、食べたいものを自分で選び、食べる事こそ、生きる力の原動力になるのだと思います。自由に掴めるようになった手で、おいしそうに食べる姿に、頼もしさを感じ嬉しく思いました。



●排泄

目覚めた時や食事の前後、生活の節目でオマルに座らせて排泄の習慣をつけています。タイミング良くオマルにおしっこが出ることも増え「わぁー シッシでたねー」と声をかけると、嬉しそうに微笑むはるまくんです。オムツやパンツが汚れた時は、すぐにきれいなものと交換し、気持ちのよい状態にしていくことを繰り返すことは、排泄の自立だけではなく、信頼関係を深めることにも繋がります。なのさんやななみさんもオマルに座って排泄しています。成功することもあり、オマルにも慣れてきています。



●睡眠

保育士にも慣れ、安心して眠れるようになりました。保育園でのリズムも整い、機嫌良く1日を過ごせています。毎日、同じ場所で眠ることで安心して眠り、起きることが出来ています。自立起床する日、起こされて目覚める日とその時によって様々ですが、「おはよう、目が覚めたね」と声をかけて側にいることを伝えることで、途中で目が覚めても機嫌良く起きることが出来ています。

●身辺自立

「次は手を入れるよ」「足あげて」「タッチするよ」と言葉を添えて着脱をしていくことで、子ども達自身が自ら手を入れようとしたり、足を上げてパンツやズボンをはこうとするようになってきました。

大人がした方が早い、または子どもの気持ちを先取りして、手や足をもって着せたりはかせたりするだけではなく、子どもの自分でしようとする意欲を先取りしないためにも、言葉を添えて自分がいま何を

領域	11ヶ月～	9ヶ月～
食事	<ul style="list-style-type: none"> スプーンを手を持たせ、道具の認識を促していく 自分で食べたい気持ちを大切に受けとめ、様子を見て介助し、充分たべられるようにしていく（子どもが意欲的に食べられるようスプーンは2本用意する） コップを使って飲む 	<ul style="list-style-type: none"> 持って食べられる環境にしていく 背中がしっかりしてくるので体に合ったイスに座らせる いただきます、ごちそうさまをする ミルクを飲むときに自分の出で持てるように手を添える
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 生活の節目におまるに座る おまるを見せて子どもと一緒に確認していく 日中はパンツで過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の節目におまるに座る こまめにオムツ、パンツを換え気持ちよさを知らせる
睡眠	<ul style="list-style-type: none"> 2回睡眠。時間を一定させていく(午前睡30分) 起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> 2回睡眠。時間を一定させていく(午前睡60分) 起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく
身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> 言葉掛けをしながら、着脱を進める 声を掛けながら少しづつ手を添わせていく 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉掛けをしながら、着脱を進める
言語認識	<ul style="list-style-type: none"> 「マンマンマン、ナンナンナン、ダダダダ」など切れ目のない喃語を発する 指さしを始め、自分の意志や要求を伝えようとする 簡単な言葉を理解し言葉と動作の結びつきが分かりだす 相手のしていることに興味を示し自分もしようとする 他の子どもが持っているものに手を出したり、相手に物を渡す 自分の名前を呼ばれるとわかる ちょうだい、どうぞの遊びが出来る 物の出し入れを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 「アー、アウ、プー、オッ」などの声を発する 見つけた物や人を指さす「志向（心がある）の指さし」 大人の後追いをしたり、夜泣きがある 叱られたことがわかるようになる バイバイをすると手を出して降るような仕草をするなど、「志向の模倣」が始まってくる 物の感覚的特徴で選ぶ（音が出る、色がきれいなど）
運動	<ul style="list-style-type: none"> ハイハイ、坐位、つかまり立ち、伝い歩きと姿勢を自由に切り替えられる 深さ、距離、高さを知り始め、見通しが解りはじめる 箱などを押して歩いたり、高這いで目標に向かって進む 階段を四つ這い、高這いで昇り降りすることができ 障害物を乗り越えて、好きな人や物のところへ近づける 	<ul style="list-style-type: none"> ずり這いからつま先に力を入れて踏ん張り、お腹を持ち上げ、四つ這いで進むなど姿勢を変えて移動する 一人で座れるようになり、座った姿勢でも両手が自由に使えるようになる
手指探索	<ul style="list-style-type: none"> 両手に物を持って、正面で打ち合わせる 小さい物を、親指と人差し指でつまむ 容器に物を入れる、かぶせる、乗せる、合わせるなどできる 鉛筆やペンを逆に持って打ち付けたり、左右の往復運動をして殴り書きができるようになる 左右それぞれの手で2つの物を持てた上で、他者に渡せる 	<ul style="list-style-type: none"> 立体的な物を親指と中指の2本でつまむときに、人差し指が加わり、3本の指で物をつまむようになる 手に持った物を正面で別の物に打ち付けたり、次の物をに打ち付けたりし始める 自分から左右の手に1つずつ物を持つことができるようになる 持っている物を自分から放す事ができるようになり、新たな物を探索する
絵本	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の時間を、大人も子どもも楽しむ 絵本に興味を持ち、指差したり、真似したり、集中してみる(聞く力、言葉の獲得) 	
描画造形	<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材で描くことを楽しむ 季節にあった製作をする 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 季節の歌を楽しむ 赤ちゃん体操や動きに合わせて歌ったり、柔らかい声で静かに歌う 子守唄、わらべうたも歌っていく 	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりをつないでいけるようにしていく 色んな場所、人との関わりを意識的に広げていく 相手だけでなく、相手のしていることにも興味を示し模倣する 	
健康	<ul style="list-style-type: none"> 探索活動を保障し、安全に気を配る 赤ちゃん体操をする 外気浴 誤飲に注意する(直径3.5cm以下の物は置かない) 環境整備 病気の時(発熱、下痢、嘔吐)の対応情報を伝える おもちゃや日用品の洗浄 	

されているのかわかるようにしていきたいと思います。

平成 25 年度 くるみ組 6月の目標

・夏の病気に留意し、衛生的で安全な環境で気持ちよく過ごせるようにする。

・家庭と連携をとりながら体調を把握し、沐浴、水あそびを楽しむと共に水分や休息を十分にとる。

・甘えたい気持ちを受け止め、安心して、探索あそびややり取りあそびを楽しめるように見守る。

- 一人ひとりの発達に応じた環境を工夫し、興味が広がるようにする